

星野富弘（ほしの とみひろ）さんは…

中学の体育教師である 24 歳の時、クラブ活動の指導中に頸髄を損傷し、手足の自由を失いました。絶望の淵に立たされましたが、病院を訪ねて来てくれる友人や生徒、そして彼らの手紙に励まされました。その手紙に返事を書きたいと、字を書くために口に筆をくわえたことから生きる希望を見つけ始めます。それから多くの作品を描き、多くの展示会が開催されました。

星野さんの描く詩や草花の画はやさしさと温かさにあふれています。

花や詩にこめられた星野さんの世界に触れ、生命の尊さを感じる出会いになりますように。

星野富弘プロフィール

- 1946 年 群馬県勢多郡東村（現・みどり市）に生まれる。
- 1970 年 3 月 群馬大学を卒業し中学校の体育教師になるが、
6 月 17 日 仕事（クラブ活動の指導）中に頸髄を損傷し
手足の自由を失う。
- 1972 年 群馬大学病院入院中、口に筆をくわえて文や絵を書き始める。
- 1974 年 病室でキリスト教の洗礼を受ける。
- 1979 年 入院中、前橋で最初の作品展を開く。9 月に退院し、帰郷。
- 1981 年 結婚。雑誌や新聞に詩画作品やエッセイを連載。
- 1982 年 高崎で「花の詩画展」開催。
以後、全国各地で開かれる詩画展は現在も続いている。
- 1991 年 群馬県東村に富弘美術館開館。
- 2024 年 4 月 逝去（78 歳）。6 月 みどり市名誉市民（第一号）となる。



富弘美術館